

「日野郡3町三色たたらんち」 プレデビュー!!

日野郡の「たたら」を和・洋・中のグルメで表現した「新ご当地ランチ」が郡内5店舗でいよいよテスト販売スタート

- テスト販売期間/10月22日(土)~11月末
- テスト販売価格/500円(限定333食)
(通常1,000円~1,200円)
- 各店舗1日限定10食

販売店

<和食のたたらんち>

休暇村奥大山、そば道場たたらや

<洋食のたたらんち>

エミーズカフェ(福祉交流センター江美の郷内)、リバーサイドひの

<中華のたたらんち>

ふるさと日南邑ファームイン



※店舗によって提供できない期間があります。
詳細は、交流協HPで随時お知らせします。
<http://www.pref.tottori.lg.jp/hinokankou/>

問 日野郡広域交流促進協議会(日野振興局内)
電話：0859-72-2082 FAX：0859-72-2072

地震のメカニズムを探る ～満点計画進行中!～

平成12年に発生した鳥取県西部地震から今年で16年、日本列島では東日本大震災や熊本地震をはじめとする多くの地震が発生しています。

地震活動予知のためには、震源の様子を正確に調べることが重要となります。このため、全国の大学の研究者からなる地殻ダイナミクス研究グループにより、鳥取県西部地震の震源を中心とした、鳥取県、島根県、岡山県にまたがる半径17kmの範囲に、約1kmおきに設置するという世界でも類を見ない精度の観測が計画されました。

観測は平成29年3月から1年行われる予定です。現在はボランティアによって、各地で地震計設置に適した場所を探す調査をしています。皆様の地域に地震計の設置をお願いすることがありましたら、出来る限りご協力をお願いします。

また、地震計が設置されているのを見つけても、手を触れないようにご注意ください。



▲このような地震計が設置されますので手を触れないでください

日野川の自然環境と 希少生物を守る 体験学習を行いました!

日野川流域は特別天然記念物のオオサンショウウオ(ハンザギ、ハンザケとも呼ばれる)の生息地であることが知られています。
オオサンショウウオは、数千万年前から生き続けている世界最大の両生類で「生きた化石」と言われおり、世界中でも岐阜県以西の日本、中国南部及びアメリカ大陸東部でしか生息が確認されていない希少生物ですが、いまだに十分な生態調査が行われていません。
また、近年、子ども達が自然と触れ合う機会が減り、身近な生物等に対する関心が低下していると言われています。
そこで、日野川の源流と流域を守る会では、日野川流域でオオサンショウウオの生態調査を兼ねた河川調査体験学習会を実施し、地元の高校生や子ども達にふるさとの恵まれた自然を体感してもらいました。

7月8日に日野高校の1年生19名、8月1日に江府小学校の1~6年生36名が参加した学習会では、講師のNPO法人日本ハンザギ研究所副理事長の岡田純さんからオオサンショウウオの生態や希少性について学んだ後、捕獲されたオオサンショウウオの身体計測を手伝い、追跡調査のためのマイクロチップの埋込作業を見学しました。
また、オオサンショウウオの観察後は、たも網を使って川の生物調査を行い、ヤマメやドンコなどの魚も確認され、身近な川の豊かな自然を実感した様子でした。
日野川を守る会では、今後も「日野川流域を守り、子供たちに美しい日野川を引き継ぐ」という会の理念を実現するために様々な活動が続けていきます。



※今回のオオサンショウウオの調査は、関係機関の許可を得て実施しています。

問 日野川の源流と流域を守る会(日野振興局内)
電話：0859-72-2080 FAX：0859-72-2072